



9月はこども夏祭り、お泊まり保育、と延期にしていた行事を無事におこなうことができたのは、保護者の皆様のご理解あつてのことです。子どもたちにとって、思い出の一つになつたり、これからの成長のきっかけになればと願いながら、職員一同協力しながら取り組んでいます。

ふたばランド保育園の考えとして、理念はもろろんのこと、「みんなをみる」(自分のクラスの子だけでなく、園の子どもたちを職員全員でみる)ことを大切にしています。今回も夏祭りの際に、職員全員が色々なところに配置して子どもと関わったり、年長児のお泊まり保育の際には、スムーズに事が運ぶように陰で動いたり、みんなで協力して進めることができました。先月の園だよりで、子どもたちを宝物と表現させていただきましたが、職員も宝物です。みんながいないと一人では何もできません。

職員の中には、皆さんと同様に小さいお子さんを持つ方もいます。今後、『園の行事』と『どうしても動かすことのできない職員の家庭の予定』が重なることがあるかもしれません。その際、職員には家庭の予定も大切にできるような声を掛けたいと思っています。もちろん、行事を迎えるまでは責任を持って取り組んでもらいます。当日は職員一丸となつて「みんなをみる」ことで、大切なお子さんに影響がないようにしていきますので、どうかお許しただければと思います。職員の幸せは園に良い雰囲気をもたらし、子どもたちの環境に、必ず良い影響を与えると信じています。

園長 梶原 秀一

今月の予定

筑波登山遠足(年長児のみ)

10/5(水)

ぞうグループ(年長児)が筑波山登山に挑戦です!市のバスをお借りして出発します。足だけでなく、手や全身を使って女体山山頂(877m)を目指します!

牛久市幼児教育指導員の先生方による

「おはなし会」

10/11(火)

子どもたちは毎月、お話を楽しんでいます。宮本先生と栗山先生の優しい語り口に癒やされる時間です。

おべんとうデー

10/19(水)

いつもご協力いただきありがとうございます。子どもたちは朝からお弁当の話題で持ち切りです! ※傷み防止のため、必ず加熱したものを冷ましてからフタをしてください。また、日中は涼しい場所で管理をしますが、引き続き保冷剤も入れてください。

交通安全教室

10/20(木)

今回は買い物ゲームを通して、交通ルールについて教えていただきます。子どもに関わる色々な事故が増えている今、ご家庭でも一緒に確認できると良いですね。

カレーライスの日

10/21(金)

自分の役割として各係で活動しています。にじ・ひかり・ひよこグループのみんなは色々なところに見学に行つて、この日を五感で楽しんでいます。 ※年間予定では13日でしたが、変更してまいります。ご了承ください。

誕生会

10/27(木)

10月生まれのお友だちの誕生会です!一つ大きくなるということは、子どもたちにとっても大きな自信をつけてくれます。

年長児のご家庭は、令和5年度新入学児童健康診断があります。各ご家庭で日程のご確認をお願いします。 ※向台小地区の方は筑波登山と重なってしまい、ご迷惑をお掛けします。

お知らせ・お願い

★自分の荷物は自分で持とうね!

特にかえるグループ(3歳児)以上のお子さんは、登園・降園の際には自分の荷物は自分で持てるようにしたいですね。自分のことを自分ですることが、その子の今後の生きる力となり、自立へと向かっていきます。荷物を持ってあげることはその子のためのようで、力を奪っているかもしれません。

★希望参観について

日常保育の希望参観をご利用いただく機会が増えております。設定された保育参観よりも子どもたちの自然な様子が観ることできる機会だと思ひます。

★早朝・延長、

土曜日保育申請書の提出について

ここ最近、毎月20日の提出に間に合わないご家庭が増えています。このまま変わらない場合は、期限内に提出していただいているご家庭がある手前、「未提出のご家庭は次の月の利用を控えていただく」、...、ということを検討せざるを得ません。 毎月の提出が大変なのは理解できますが、どうぞよろしくお願い致します。

★わくわくフェスティバルについて

日時 11月5日(土) 9:30~

場所 牛久運動公園メインアリーナ

にじぐみ(0歳児)からの参加となります。詳細は後日手紙を配布致します。 みんなでわくわく楽しみましょう!

★連絡王について

今後もコロナ関連に限らず、緊急で皆さんにお伝えする方法は連絡王を使用致します。届いたときにはなるべく早いご確認をお願いします。また、気づきにくい場合には設定の変更等をお願いいたします。

「加速する社会」

新聞の投書欄で、タブレットでの注文をめぐり、80代の客と店員が口論していたことについて、「時代についていく努力も必要」と言う意見があつた。それについて、多方面からの投書が載つていた。高齢者は、デジタル社会に置いていかれ、ストレスが溜まる。21世紀の近代は100年で変化するところを、10年でも必要とせずに変化を。1年で大きく変わることもある。忙しく感じる。時の過ぎるのが速く感じる。▼年のせいかなと思つていた。「ジャーネーの法則」がある。大人になると、体感時間が短くなる法則だ。感じる時間の長さは、年齢の逆数に比例するという。それは、子どもは常に新しい体験をして感動したり、できないことにチャレンジして達成感を味わつたり、失敗して辛い目にあつたりする。子ども達は、活動的でなんでも知りたがりやで、やりたがりである。毎日、新しい発見や学びがあるからだという。だから、子どもの時間は大切なのだということに同意できる。しかし、年を取つても、私は、活動的で意欲的で、知りたがりやで、やりたがりである。おまけに、感動し、泣いたり笑つたり、心豊かである。それなのに、なぜか時が過ぎるのが速く感じられる。心せわしくなつていく。▼「加速する社会」という本を手にした。現代は誰もがますます忙しくなつていないか。IT、ス

マホを使い、電子メール、オンラインを活用しているのに、以前よりも時間が過ぎるのが速く感じられる。ストレスが高まる。ずっと走り続けていないと、今の立場すら保てないのではない不安である。まるで、地滑りを起こしている急斜面に立っているかのような恐怖を覚える。社会が変化するスピードは、どんどん速くなっており、キャッチアップを少しでも怠れば、たちまち知識や情報は古びて、時代遅れになる。私達と同じ場所にとどまるために、できるだけ速く走つていく。「加速する社会」への適応を拒めば置いて行かれる。近代社会は絶えざる成長と上昇を必要とし、加速のプロセスが自らを強化して、さらなる加速をもたらし、▼20世紀末に始まる「後期近代」は、加速と流動化がさらに進んで、臨界点を越えた時代だ。人も、政治も、経済も、加速プロセスに浸食されている。人生のうちには仕事や社会も変わり、アイデンティティも流動化している。しかし、加速に抵抗したり、逃げたりしても、解決しない。加速に流されずに、読書し、音楽を聴き、自然の移ろいの中で、じっくりと思考し、時の流れを感じ、季節を味わいたい。人生の一時、一時を大切に過ごそう。

理事長 浅田 精利